

論文執筆要綱

この執筆要綱は「日本フルードパワーシステム学会論文集」の原稿を和文で記述する場合に用いる。原稿は本執筆要綱に従い、最新の和文用サンプル原稿をダウンロードして作成する。なお、フォーマット全般について、この要綱から著しい逸脱が認められる場合には、論文が返却される場合がある。

(I) 原稿体裁

1. 研究論文、技術論文、速報（以下、論文等）は、表題・著者名・英文概要・本文・謝辞・参考文献・附録からなる。刷り上がり状態における原稿の分量は、研究論文 8 ページ以内（最大 12 ページ）、技術論文 4 ページ以内（最大 6 ページ）、速報 2 ページ以内を原則とする。
2. 第 1 ページには、まず表題・著者名を和文および英文で記入し、その後に英文概要を 300 語以内にまとめる。
3. 英文概要の後に「**Keywords :**」を置き、これに続けて 5~10 語のキーワードを、学会のホームページに掲載されたキーワード集 (https://www.jfps.jp/04_02.html) を参考に英文で付す。
4. 本文は二段組にして、キーワードの後に続ける。
5. 各段組の 1 行は 25~26 文字、2 ページ以降の一段は 48 行を標準とする。
6. 第 1 ページには、体裁見本のように左コラムの下に脚注を設ける。脚注には、原稿受付日（年月日は学会側で記入）、著者全員の所属と所在地（括弧書き）を記載する。所属と所在地は、原則、最新の情報とすることが望まれるが、投稿時の情報あるいは最新の情報（現：○○○）などと併記してもよい。加えて、責任著者には括弧書きでメールアドレス（E-mail）を付記する。メールアドレスは長期に亘り使用されるアドレスが望ましい。
7. 図、表、写真は本文中に割り付けて貼る。

(II) 文章表記上の注意

1. 原稿は簡潔な表現により横書きの口語体とし、常用漢字および新かなづかいのひらがなを用いる。ただし外国語はカタカナまたは原語のままとし、句読点には「，」「。」（全角）を用いる。
2. 論文等の表題および副題のフォントは、和文はゴシック体、英文は Times New Roman のボールド体を使用し、表題は 14 ポイント、副題は 12 ポイントとする。
3. 著者名のフォントは、和文は明朝体、英文は Times New Roman を使用し、どちらも 12 ポイントとする。
4. 英文概要のフォントは Times New Roman, 9 ポイントを使用する。
5. 本文のフォントは明朝あるいは Times New Roman, 9 ポイントを使用する。
6. 文部科学省、JIS で定められた学術用語、記号、定義があるときはこれに従う。
7. 単位は原則として SI（国際単位系）を用いる。

- 見出しは1.のように番号付けし、行の中央に置く。小見出しは1.1のように細目番号付けし、行の左に置く。見出しおよび小見出しは、和文はゴシック、英文はTimes New Romanのボールドを使用し、見出しは10.5ポイント、小見出しは9ポイントとする。

(Ⅲ) 数式・記号の字体指定上の注意

- 数式は、MS-WORDの「数式」ツールを用いる。文中における、量を表す文字（例： x , p , Q ）も「数式」ツールを用いることが推奨される。
- 単位、数字および点や位置や物を表す文字（例：7 MPa, 3 m/s, 点A）、ならびに数学記号（例：log, ln, sin, cos, tan, lim, exp）および元素記号はローマン体を使用する。
- ベクトルや行列はボールドイタリック体を使用する。
- 単位には括弧をつけない（例：7[MPa]ではなく7 MPa, b [m]ではなく b m）。

(Ⅳ) 図表作成上の注意

- 図表にはそれぞれFig.1, Table 1のように番号を付け、続いて英文による説明（キャプション）を書く。図表の説明（キャプション）はTimes New Roman, 8ポイントを使用する。図表中の文字も英文とする。本文中で図表を引用するときは、Fig.1, Table 1のように表記する。
- 図中の文字や記号は、その大きさや線の太さに注意し、文字は読める大きさにする。
- 図中の英文は、原則として、最初の文字を大文字に、他は小文字にする。

(Ⅴ) その他

- 引用文献は関連箇所の右肩に番号を¹⁾のように記入し、本文末尾に下記の形式で記載する。また、複数の参考文献の引用はカンマで区切り（例：^{1), 2)}）、3つ以上の連続する通し番号が必要な場合には半角ハイフンでつなぐ（例：²⁾⁻⁴⁾）。参照ページ数の表示は、1ページの場合はp.として、複数ページに渡る場合はpp.として始める。なお、フォントは本文と同じである。

論文や学会誌などの場合 1) 著者名：論文名、誌名、Vol.○, No.□, pp.△-▲（発行年）,
<https://doi.org/----.--->

単行本の場合 2) 著者名：書名、出版者、p.▽（発行年）

インターネット上資料の場合 3) <http://---/---.---> (accessed on 年月日)